

ごとう通信

第 75 号

平成 19 年 3 月 1 日

すが：皆さんが三月になるとともにお元気になることを祈っています。



やっぱり春はいいですね。

ついに完成！

おやつ、もう三月ですね。しかもポカポカするような陽気もあつたりした二月の後の三月、「ついに来た」という感じもせずに春に突入してしまいです。確かまだ雪が…。三月になつてからぐつと寒くなり、雪なんて降つたらみんな体調を崩してしまいです。

何となくイメージでは、暖冬のおかげで過ごしやすく、体にとつても負担の少ない冬のように感じますが、実際はそうでもないようです。訪問診療を始めて今年で十年目ですが、一月、二月でこんなに体調を崩されている方が多いのは初めてです。インフルエンザは流行らなかったの

このような変化は他の動物や植物にも起こっているみたいです。冬眠しているはずのクマやカエルが起きて活動しているというニュースも見ました。また、ある方に「木が眠れない」という少し怖いお話もうかがいました。今後自然界にどのような変化が出るのか怖いです。やっぱり季節は平年通りが一番いいみたいです。「冬は寒く、春は落ち着き、暑いに夏に突入し、心地よい秋がある」といった日本の四季がいいですね。

ただ、桜を見ると多少時期がずれても「春だなあ」と感じるものです。はじめて「ごとう通信」で宣言して約一年半、ついに僕の書いた本が完成します！ そもそも本を書こうと思ったきっかけは、マニュアル本やガイドブックのようなものだけでは「口から食べることの重要性」や訪問歯科診療の真髓を伝えられないものがあると思ったからです。情報社会の現代、困ったことがあればいろいろな手段で情報を得ることができます。しかし、少なくとも医療や介護の分野は、知識や技術だけあればよいという世界ではありません。ケアの世界なので、人と人とのコミュニケーション、情熱、誠意、失望など多くの因子によって成